東京新聞
中日新聞東京本社
東京都千代田区内幸町二丁目一番四号
〒100-8505　電話（03）6910-2211

米、辺野古拡大を要求

日米共同使用 事実上の拒否

自衛隊共同使用 事実上の拒否

政府、地元対策の思惑裏目

日米両政府が発表した米軍普天間飛行場移設問題に関する共同声明に、検討項目として盛り込まれた米軍基地の日米共同使用をめぐり、名護市辺野古に造る代替施設を共同使用する場合は、米側が施設の拡大を求めていることが二十九日、明らかになった。

両国に共同使用が記されたのは、日本側の提案による、安全保障面での連携を促すとともに、基地の運営に日本が関与できる余地ができ、自衛隊が地元対応の窓口になることで、基地が受け入れられやすくなる狙いがある。

二〇〇六年に決定した現行計画は、辺野古沿岸を埋め立て、V字形に滑走路二本を建設するとしている。

今回の日米実務者協議で日本側は、滑走路を一本に縮小した上で、自衛隊との共同使用を米側に求めた。これに対し米側は、滑走路二本の現行計画が最善と主張、共同使用については「受け入れる余地はあるが、自衛隊も使う分、施設を広げる必要がある」と指摘したという。日本が受け入れないのを見越して、共同使用を事実上拒否した形だ。

日本側も現行計画より拡大させることには、地元の理解が得られない上、環境影響評価（アセスメント）のやり直しも必要となって移設が遅れるため、難色を示した。結局、共同使用は検討項目にとどまった。

一方、共同声明の英文は、滑走路に複数形の「S」がかっこ書きで付き、滑走路が複数になる可能性を残すことになった。

共同声明該当部分

【施設の共同使用】

両政府は、二国間のより緊密な運用調整、相互運用性の改善及び地元とのより強固な関係に寄与するような米軍と自衛隊との間の施設の共同使用を拡大する機会を検討する意図を有する。

歯の衛生週間を前に調査員と歯科医師から歯磨きをされるカバの「ズー」＝29日午後、埼玉県宮代町の東武動物公園で（藤原進一撮影）

ガバッと歯磨き

6月4日から始まる「歯の衛生週間」を前に、埼玉県宮代町の東武動物公園で29日、カバの歯磨きが公開された。

挑戦したのは、オスの「ズー」（34歳）。地元歯科医師の杉原襄昭さん（51）が、長さ約80㌢のジャンボ歯ブラシを両手で抱え、大きな口を開けたズーの歯をゴシゴシと磨いた。

ズーの歯は約40本。家族連れら約200人が見守る中、ズーは気持ちよさそうな表情を浮かべていた。

哨戒艦沈没 対北、日韓が連携

首脳会談 中国に協力要請へ

【済州島＝佐藤圭】鳩山由紀夫首相は二十九日、韓国を訪問し、李明博大統領と当地で会談した。両首脳は、韓国海軍哨戒艦沈没事件をめぐる北朝鮮への対応で、国連安全保障理事会への提起を視野に、日韓両国、さらに米国を加えた三カ国で緊密に連携していく方針を確認した。北朝鮮に大きな影響力を持つ中国から協力姿勢を引き出すことが重要との認識でも一致した。

関連❷面

首相は「大統領が大変冷静に見事な指導力を発揮していることに敬意を表する。日本として心から韓国を支持する」と表明。大統領は、日本政府による送金報告義務額引き下げの追加制裁決定を「迅速だった。最初の段階から格上げとした支持をいただきありがたい」と評価した。

経済面では、二〇〇四年十一月以来中断している日韓経済連携協定（EPA）交渉の再開に向けた協議を、現在の審議官級から局長級とに格上げすることで合意した。三カ国首脳会談二日目の二十日に沈没事件を取り上げる。

日韓両首脳は引き続いて、中国の温家宝首相を加えた日中韓三カ国首脳会談に臨み、日中韓の協力強化のため常設事務局を来年、韓国に設置することで合意した。

首相が辞任否定

内閣改造も考えず

【済州島＝佐藤圭】鳩山首相は二十九日夜、同行記者団と懇談し、米軍普天間飛行場移設問題の混乱をめぐり、民主党からも首相の責任論が出ていることについて「さまざまな声があることは承知、理解を得たい」と述べ、引責辞任する考えのないことを重ねて強調した。

内閣改造については「そういう発想は持ち合わせていない」と否定した。

首相は、福島瑞穂社民党代わり、平野博文官房長官が消費者担兼務しているこについては「すべて国会の会期延長も否定した。

歯科医に虐待意識調査

相談・通告 指針に反映

小児歯科学会方針

東京都江戸川区で小学一年男児が今年一月、両親から暴行を受けた後に死亡するなど児童虐待事件が全国で相次いでいるが、一般社団法人「日本小児歯科学会」（会員約四千四百人）は小児歯科医師に虐待への対応や意識に関する調査を行う方針を決めた。児童虐待問題で、歯科医師の意識調査が全国規模で行われるのは初めて。

調査は、同学会が資格認定する小児歯科の専門医約千人が対象。六月から調査票を配布し、本年度中に分析結果をまとめる予定。

調査票では、歯科医師の通告義務や通告先など虐待問題への関心を問うほか、虐待を疑う事例や児童相談所などへの相談・通告の有無、虐待を疑っても通告しなかった経験や理由、歯科健診時にネグレクト（育児放棄）などの虐待に注意しているかなどを尋ねる。

同学会は虐待防止対応のガイドラインを作成しており、調査結果次第で、ガイドラインを改定した。

六月十六日まで国会の会期延長も否定した。

首相は、閣僚の政治資金問題について「国民の疑念を招いたことは重く受け止めている。努力することで国民の理解を得たい」と述べ、引責辞任する考えのないことを重ねて強調した。

内閣改造については「そういう発想は持ち合わせていない」と